令和6年度 年間授業計画 第1学年

橘高等学校定時制 令和6年度 教科 国語 科目 現代の国語 年間授業計画

教 科: 国語 科目:現代の国語 単位数: 2単位

対象学年組 : 第1学年 1組

教科担当者名: (、)

使用教科書 : (新編現代の国語 大修館書店)

使用教材: (自作ワークシート)

科目 現代の国語 の目標:現代日本語の論理的文章を的確に読解し、それについての考えを明確に表現する。

【知識及び技能】		【思考力、判断	力、表現力等】	【学び	こ向かう	力、人	間性等】	
主体的・対話的で深い学びをとおしてに必要な国語の知識や技能を身に付け		論理的に考える力、他者 る力を伸ばし、言葉で伝	云えあう力を高める。		る多様な話題・題材に対 動を通して、主体的に学 。			
単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規約	集	知	思	態	配当時数
○「変わる」ことについて、筆者 の考えを読み取り、高校生活を始 めるにあたっての参考にする。 ○筆者の主張をふまえて、コミュ ニケーションに対する意欲を持 つ。 期	〇「変わ 〇コミュ	ニケーションは技術だ	【知】筆者の主張や根拠いて、理解している。 【思】文章の叙述にもと 要点を把握している。 【態】自主的な思考、コンに前向きに取り組もう	ごづいて、要旨や	0	0	0	2 4
〇場面や目的に応じて適切な言葉を選び、適切に使い分ける。 〇表記や係り受けに注意して、正確で整った文を書くとともに、接続表現を使いこなして論理的でわかりやすい文や文章を書く。 期	○言葉の(○正しく ○文を整え	書こう	【知】場面や目的に応じ 表現の特色について、正 いたり話したりできる。 【思】場面に応じて適り が出来、表現を工夫する 【態】正しい表現に取り 学習に取り組む。	Eしく理解し、書 のに対応すること ることが出来る。	0	0	0	2 8
○説明のしかたに注意して文章を 読み取る能力を身に付ける。 ○わかりやすい説明のしかたを身 につける。 3 学 期	○人間は: のどちら!	ゴリラとチンパンジー	【知】説明のしかたに活み、わかりやすい説明のける。 【思】的確に読解するがも正確に表現できるよう 【態】意欲的に説明に取	つしかたを身につ つを養い、自分で うにする。	0	0	0	1 8
	•		四四	. 当 合 計	時	間	•	7 0

橘高等学校定時制 令和6度 教科 公民 科目 公共 年間授業計画

教 科 : 公民 科目:公共 単位数:2単位

対象学年組 : 第1学年 1組

教科担当者名: ()

使用教科書: (高等学校公共 これからの社会について考える 数研出版)

使用教材 : (自作プリント)

科目 公共 の目標: 現代社会の諸課題を身近な問題として理解し、課題解決の方法を考える。

【知識及び技能】			【思考力、判断	力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】				
	代社会の基本原理を理解し、資料等 についてとらえる。		会の諸課題につい 決に向けて考える			ている事象に関心を持 日指す態度を養う。			寺ち、より
	単元の具体的な指導目標	指導項目	・内容	評価規約	生	知	思	態	配当時数
1 学 期	ー員として社会参画する重要性を とらえる。 ○個人として、共同体の一員とし て、よく生きるとはどのようなこ		人? 尊重するため い社会へ	【知】青年期の課題や他者とのかかわりの中で自己形成をしていくこと、他者とかかわりの中で自己形成することの重要性を理解している。 【思】みんなが幸せな社会とはどのようなものか自分の考えをまとめている。 【態】個人として、社会の一員として、よりよい社会をつくろうと主体的に取り組んでいる。			0	0	1 4
2 学期	○世界の思想家のさまざまな思想内容を理解する。○人間の尊重と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配などの基本原理について理解する。○日本国憲法の三大原則について理解する。	公共的な空間にお てのあり方生き方 〇西洋近現代の思 公共的な空間にお 〇民主社会の基本 〇日本国憲法の基	想 ける基本原理 原理	【知】民主政治を実現す 方法を理解している。 原則と憲法が保障する。 【思】法の支配と人の支 え、法の役割を自分なり いる。 【態】よりよい社会の実 治を通して主体的にして の方法を考えようとして	国本国憲法の三大 大権について理解 を配の違いをとら リに考えまとめて 受現に向けて、政 対することや解決	0	0	0	14
学	○具体的な事例を資料から読み取り、新しい人権について理解する。 ○法などの社会規範の役割を理解する。 ○契約や消費者の権利、消費者を守る制度について理解する。	○新しい人権の広 ルールをつくり守 ○法と契約	がり	【知】新しい人権の内容した社会の変化について 【思】社会の変化にから新れ、新たな課題が生まとれ、 明題に関心を持ちている。 「態】よりよい社会の実 に態】よりよい社会の実 治を通して主体的にして の方法を考えようとして	で理解している。 所しい人権が生まれている。消でいる。消でいる。消費 が解決方法についる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	0	0	0	1 8
	н			· 配	. 当 合 計	時	間		7 0

橘高等学校定時制 令和6年度 教科 数学 科目 数学 I 年間授業計画

教 科: 数学 科目:数学 I 単位数: 2単位

対象学年組 : 第1学年 1組

 対象子中心
 3. . . .

 科担当者名
 : (東京書籍 新数学 I)

 使用教科書
 : (東京書籍 新数学 I)

 / かり
)

科目 数学 I の目標:数学的な見方・考え方を働かせ数学的に考える資質・能力の育成を目指す

	【知識及び技能】		【思考力、判断	· 力、表現力等】	【学びⅠ	こ向かう	力、人	間性等】	
や、事質学	の計算、数と式、二次関数等、基本 、原理・原則を体系的に理解すると 象を数式化したり、数学的に解釈し 的に表現・処理したりする能力を身 うにする。	ともに、 たり、数	見たり、目的に応じ適切	象を的確に表現してその	度、粘り強く考え うとする態度、問	え数学的論拠に基づいて 問題解決の過程を振り返 西・改善したりしようと			て判断しよ 図って考察
	単元の具体的な指導目標		上 指導項目・内容	評価規	<u> </u>	知	思	態	配当時数
1 学期	・中学校までに学習した基礎計算ができる。 ・整式の加・減・乗法の計算ができる。 ・因数分解が公式等を活用しできる。 ・数を実数まで拡張する意義を理解するとともに、簡単な無理数の計算ができる。	1章 数 1	文字と式 文字を使った式 多項式と単項式 多項式の計算 因数分解 実数	【知】中学校までに学習 演算ができる。 【知】2次の乗法公式や 式を適切に用いて計算を る。 【思】問題を解決する際 した計算方法と関連付け に捉えたり、目的に応し たりすることができる。 【態】興味関心をもち、	や、因数分解の公 をすることができ 学に、すでに学習 けて、式を多面的 とて適切に変形し	0	0	0	13
	・方程式・不等式の意味が理解できる。 ・簡単な方程式・不等式が解ける。 ・簡単な2次方程式が解ける。 ・関数の意味が理解でき、値の計算をし、グラフが描ける。 ・2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解できる。	3節 2		理解しようといている。 【知】不等式の解の意味について理解するととも の解を求めることができ	まや不等式の性質 らに、1次不等式 きる。 (方法や不等式の 式を解く方法を考 を振り返って考察	0	0	0	12
3 学 期			2次関数のグラフと 2次不等式	【知】2次関数を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	マイン では、 マイン では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	0	0	0	20
				酉己	, 当 合 計	時	間	•	70

橘高等学校定時制 令和6年度 教科 保健体育 科目 体育 年間授業計画

教 科 : 保健体育 科目:体育 単位数: 2単位

対象学年組 : 第1学年 1組

教科担当者名: (現代高等保健体育 大修館書店)

使用教材 : (自作プリント)

科目 体育 の目標:生涯にわたって心身の健康の保持増進を目指し、豊かなスポーツライフを送れる資質と能力を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断	【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】					
・運動の合理的、計画的な実践を通しての楽しさや喜びを味わい、生涯にわたった継続できるようにするため、運動の多な力の必要性について理解しているととそれらの技能を身につけている。	て運動 課題を発見し、合理的、 様性や 思考し判断するとともに	計画的な解決に向けて は こ、自己や仲間の考えた は る。	動における競争や り組む、互いに協 参画する、一人一	たって継続して運動に親しむ 競争や協働の経験を通して、会いに協力する、自己の責任を いに協力する、自己の責任を 一人一人の違いを大切にする。 安全を確保している。			
単元の具体的な指導目標	指導項目·内容	評価規準		知	思	態	配当時数
行い、柔軟性向上・体幹を強化する(体つくり運動)。 ・自分のペアや相手のペアの特徴	体つくり運動 バドミントン 体力テスト測定	【知】自己の狙いに応じるの週のでは、言いののでは、言いののではです。 また はい	行い方があるこ いたりしてい クを打つことが 等の違いを超え を楽しむための る。 がら、回避行動	Ο	0	0	1 19 6
・自チームや相手チームの特徴に応じた作戦を立て、勝敗を競う楽	バスケットボール	【知】自己の狙いに応じる。とについて、言さができる。・パスやドリブルなどができる(バスやができる(バスやができる)を力の程度や性別で、仲間とと見つけて、中間とを見つけている。 【態】危険の予測をしなる。	行い方があるこ いたりしてい ボールをキープ ケット 違いを超え を楽しむための る。 がら、回避行動	0	0	0	6 2 4
学び方や安全な行い方について、 理解することができるようにする	体つくり運動	【知】体力の構成要素は、るための体力と運動を行っていり書きだしたりしまり運動というできる(体力の程度や体力の程度を持て、仲間とともに体力の程度を持て、仲間とともに体力の調整の仕方を身に、は、体では、中間をして、り運動の学り組もうとしている。	うための体力に について、言っ る。 達成することが 等の違いを超え り運動を楽しむ つけている。	0	0	0	7
		配	当 合 計	時	間		7 0

橘高等学校定時制 令和6年度 教科 保健体育 科目 保健 年間授業計画

教 科 : 保健体育 科目:保健 単位数: 1単位

対象学年組 : 第1学年 1組

教科担当者名: ()

使用教科書 : (現代高等保健体育 大修館書店) 使用教材 : (パワーポイント プリント)

科目 保健 の目標:現代の健康問題や、新しい時代の健康の考え方について理解する。

【知識及び技能】	【思考力、判断	【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】					
個人及び社会生活における健康・安 て理解を深めるとともに、技能を身に うにする。	つけるよ 合理的・計画的な解決	や社会の課題を発見し、 に向けて思考し判断する に応じ他者に伝える力を	支える環境づくり	通じて自他の健康の保持増進や、 きづくりを目指し、明るく豊か [、] きむ態度を養 う 。			
単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規約	L 集	知	思	態	配当時数
・健康を成り立たせている要因について例を ・我が国の健康問題について例を 挙げて説明できる。 ・生活習慣病の種類と要因を説明できる。 ・かんの原因や治療法、緩和ケアについて説明できる。 ・健康と運動との関係性を説明できる。 ・食事と健康の関係について説明できる。 ・食事と健康の関係について説明できる。 ・1学期の授業内容を6割程度理	・健康の考え方と成り立ち ・私たちの健康のすがた ・生活習慣病の予防と回復 ・がんの原因と予防 ・がんの治療と回復 ・運動と健康 ・食事と健康 ・期末考査	【知】各項目の内容に限 とを言ったり書いたりし 【思】各項目について自 を発見したり、プリント ている。 【態】各項目において、 けた学習に主体的に取り る。	している。 目他や社会の課題 に考えをまとめ 課題の解決に向	0	0	0	2 2 1 1 2 2
解できている。 ・健康と休養の関係の関係の関係のでは、の関係のでは、の関係のでは、の関係をできたでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、の	・精神疾患の特徴 ・精神疾患の予防 ・精神疾患からの回復	【知】各項目の内容に関とを言ったり書いたりし 【思】各項目について自 を発見したり、プリント ている。 【態】各項目において、 けた学習に主体的に取り る。	でいる。 目他や社会の課題 に考えをまとめ 課題の解決に向	0	0	0	1 2 2 2 1 1 1
・性感染症、エイズがほかの感染症と異なる点を説明できる。 ・健康に関する適切な意思決定や行動選択の際の工夫について説明できる。 ・社会環境の健康への影響につて例をあげて説明できる。 ・3 学期の授業内容を6割程度理解できている。		【知】各項目の内容に関とを言ったり書いたりし 【思】各項目について自 を発見したり、プリント ている。 【態】各項目において、 けた学習に主体的に取り る。	でいる。 自他や社会の課題 に考えをまとめ 課題の解決に向 り組もうとしてい	0	0	Ο	3 2 2
		四2	当合計	時	間		3 5

橘高等学校定時制 令和6年度 教科 外国語 科目 英語コミュニケーション I 年間授業計画

教 科 : 外国語 科目:英語コミュニケーション I 単位数:2単位

対象学年組 : 第1学年 1組

教科担当者名: (•)

使用教科書 : (Amity English Communication 1)

使用教材 : (なし)

科目 英語コミュニケーション I の目標:英語の基礎知識を復習し、中学英語の定着と高校英語への発展を目指す

	 【知識及び技能】	【思考力、判断	【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】					
英	語の基礎知識を身に着ける。		分を表現する力を身に着	主体的に学習に取	り組も	うとして	ている。	
英	語の検定にチャレンジする	けている。						
	単元の具体的な指導目標	指導項目·内容	評価規約	隼	知	思	態	配当時数
1 学 期		数字,文字,品詞be 動詞・一般動詞の現在形be 動詞・一般動 be 動詞・一般動 詞の過去形	【知】be 動詞・一般動詞 形を理解し、概要や要点 身に付けている。 【思】be 動詞・一般動詞 形を用いて、お気持ちを話し て、考えや気持ちを話し 【態】be 動詞・一般動詞 形を用いて、お気に入り て、考えや気持ちを話し て、考えや気持ちを話し	京を捉える技能を 司の現在形・過去 リの場所につい して伝えている。 词の現在形・過去 リの場所につい	0	0	0	4 12 11
2 学期	コンピュータの使い方や得意なことについてやり取りしたり, 写真についてまとめて発表したりする。 好きなスポーツ選手や好きな有名人についてやり取りしたり, 自己紹介などをしたりする。	be 動詞/一般動詞/進行形/助	【知】進行形や助動詞を 要点を捉える技能を身に 【思】進行形や助動詞を れた写真について、考え て伝えている。 【態】進行形や助動詞を れた写真について、考え て伝えようとしている。	に付けている。 を用いて、提示さ にや気持ちを話し を用いて、提示さ にや気持ちを話し	0	0	0	13
学	動物に関することについてやり取りしたり、好きな生き物についてまとめて発表したりする。 健康や空いた時間についてやり取りしたり、写真を参考にして、自分の考えをまとめて発表したりする。	不定詞 動名詞	【知】不定詞・動名詞を 要点を捉える技能を身に 【思】不定詞・動名詞を 動物について、健康に関 た時間について、考えた 伝えている。 【態】不定詞・動名詞を 動物について、健康に関 た時間について、考えた た時間について、考えた	こ付けている。 を用いて、好きな 関することや空い の気持ちを話して を用いて、好きな 関することや空い	0	0	0	9 1 0
	<u> </u>		西己	, 当 合 計	時	間	I	7 0

橘高等学校定時制 令和6年度 教科 情報 科目 情報1 年間授業計画

教 科:情報 科目:情報 1 単位数: 2単位

対象学年組 : 第1学年 1組

科目 情報 1 の目標:情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見

解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力向上を目指す。

【知識及び技能】	【思		【学びに	 こ向かう	 力、人lī	<u></u> 間性等】	
コンピュータやデータの活用について理解 ュニケーションの力を身につけているとと 社会と人との関わりについて理解している	もに情報 発見・解決に向	での結び付きの視点から捉え、問題の 可けて情報と情報技術を適切かつ効果 。	発見・解決に向け				技術を活
単元の具体的な指導目標	 指導項目・内容	評価規:	準	知	思	態	配当時数
情報社会と情報ネットワーク、コミュニケーション 【知】情報技術の発展などを理解する。 【思】情報利用の場面で適切に活用ができる。 【態】情報技術の課題に対して主体的に対応する。	及と情報モラル ・大切な情報を守るために ・情報社会を支える法律	【思】 情報技術についる	て適切に判断し活用	0	0	0	2 5
情報デザインとデジタル化 【知】デジタルデータの活用を理解する。 【思】デジタル化データを適切に表現する。 【態】情報デザイン技術に対する主体的な対応力。	・画像と動画のデジタル	【思】 デジタルデータ を い化 【態】情報デザインを使っ	を使い表現出来る。	0	0	0	2 5
データ活用とモデル化、アルゴリズム、プログラミング 【知】コンピュータのアルゴリズム順次分岐反復の理解し活用が出来る。 【知】モデル化の目的とシミュレーションについて理解させる。 【態】データの収集と加工、分析などの問題に主体的に取り組ませる。	・プログラムと言語	【知】コンピュータのアル 反復の理解し活用が出来で 【思】プログラムリストの 来ている。 【態】データの収集と加コ に主体的に取り組んでいる	ている。 D適切な扱い方が出 L、分析などの問題	O	0	0	2 0
"		西西	出 合 計	時	間		7 0

橘高等学校定時制 令和6年度 教科 産業 科目 産業技術基礎 年間授業計画

教 科 : 産業 科目:産業技術基礎 単位数: 3単位

対象学年組 : 第1学年 1組

使用教材 : (型抜き機、電動ろくろ、電気炉、ガスバーナーなど製作工具)

科目 産業技術基礎 の目標 : 作業について興味・関心を持ち、発言や手順を考え、他者と協働して取り組めること。

【知識及び技能】			【思考力、	断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】					
習得をすると	情、片付けや基本的な知識 ともに、各種操作方法等 で諦めずに作品を製作で	の理解を	し、考察を深めると	ともなう説明を的確に把握 ともに、産業技術基礎に関 用しながら表現する力を身	基礎の意義や役割	の理解	および記	諸問題(の解決を目
単元	の具体的な指導目標	:	指導項目・内容	—————————————————————————————————————	崖	知	思	態	配当時数
【知】皮 ける。 【思】裁	芸:五十嵐 or 大澤 革の基本的知識を身に付 縫に慣れる。 解を深める。	(皮革工芸・機器の達・機経・型抜き) 準備、片付け	【知】作業に対して発言 り、理解を深めようとし 【思】手順通りに製作し る。またはより良い方法 している。 【態】興味・関心を持ち し、協働して取り組もう	ている。 ようとしてい まを考察しようと 、他者を理解	0	0	0	35
【知】陶 る。 【思】土	大澤 or 五十嵐 芸の基本的知識を習得す 練の技術を身に付ける。 くろ操作に慣れ、器を製	・器の製作 ・土練 ・ろくろの	D操作	【知】作業に対して発言 り、理解を深めようとし 【思】手順通りに製作し る。またはより良い方法 している。 【態】興味・関心を持ち し、協働して取り組もう	ている。 ようとしてい まを考察しようと 、他者を理解	0	0	0	35
【知】ガ 習得する。 【思】安 る。 【態】丁	工芸:伊藤 ラスの基本知識を 。 全な基礎作業を習得す 寧な作業で作品を製作 ・片付けなどを協力して	・安全基本 ・器具の国 ・作品の値	準備、片付け な作業 なり扱い	【知】作業に対して発言 り、理解を深めようとし 【思】手順通りに製作し る。またはより良い方法 している。 【態】興味・関心を持ち し、協働して取り組もう	ている。 ようとしてい まを考察しようと 、他者を理解	0	0	0	35
		<u> </u>		西己		L 時	<u> </u> 間		105

^{※1}年間を3期(ローテーション)に分け、生徒も3班に分け各実習を順番に学んでいく。

橘高等学校定時制 令和6年度 教科 産業 科目 ビジネス基本 年間授業計画

教 科: 産業 科目:ビジネス基本 単位数:3単位

対象学年組 : 第1学年 1組

教科担当者名: (、 、)

使用教科書 : (ビジネス基礎、東京法令出版)

使用教材 : (自己作成プリント)

科目 ビジネス基本 の目標:ビジネスの基礎知識を学習し、経済の仕組みの理解と基本定な簿記の仕組みを理解する。

【知識及び技能】			【思考力、判断	f力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】				
ビ	ジネスの基礎知識を身に着ける。		知識を活用しながら理解	解するする力を身に着け	主体的に学習に取	り組も	うとして	ている。	
基	礎的な簿記会計を学ぶ。		ている。						
	単元の具体的な指導目標	;	指導項目·内容	評価規劃	隼	知	思	態	配当時数
	ビジネスの基本知識と仕組みを理 解する	経済の仕組 仕組みを打		【知】経済の仕組みにて を捉える技能を身に付け		0	0	0	6
		ビジネスの性を理解し	の担い手について重要 している。	【思】ビジネスの担い手 重要性について思考し知					1 8 1 6
	経済の仕組みをとらえる能力を身 につける。	経済の仕組 を理解され	組みについてその概要 せる。	している。 【態】ビジネスの担い手 理解しようとしている。					
	簿記の意味や目的を理解し、要点 をとらえる技能を身につける。	簿記の必要	要性について理解させ	【知】簿記の意味を理解を捉える技能を身に付け	けている。	0	0	0	1 8
2 学 期	経済の知識を基に簿記の基礎知識 を理解する力を身につける。	貸借平均のせる。	の原則について理解さ	【思】貸借対照表を用い ものから、企業の財政が る。 【態】練習問題からなせ が成り立つのかを理解し	代態を理解でき 受けるできます。 受けるではいる。 では、これでは、これできます。				2 4
_	取引により資産・負債・純資産が	個人企業(こおける基本的な取引	【知】取引を理解し、意	気味や要点を捉え	0	0	0	1 1
3 学 期		総勘定元帥	できるようにする。 張・補助簿への転記、 きるようにする。	る技能を身に付けている 【思】総勘定元帳への朝い、そこから試算表の作 考することができる。 【態】各種補助簿を用い 状態及び経営成績を把握 る。	記が正確に行 成を体系的に思 いて、企業の財政				1 2
	H.	1		· 配	当 合 計	時	間		105